



また、アトラクションとして※剣誠会（藤田久男会長）による真剣で巻藁を斬る抜刀術が披露され、新年の集いに花を添えました。
※剣誠会：NPO法人日本抜刀道連盟公認支部

上の寄附をされた個人・団体に市長から感謝状が渡されました。



賀詞交歓会

1月6日、西部総合公園体育館において約360人が出席し常陸大宮市新年賀詞交歓会が、開催されました。

交歓会では

平成20年中に善意銀行、奨学基金、施設整備等に20万円（相当）以上の寄附をされた個人・団

統計功労者表彰

1月15日、茨城県庁舎9階「講堂」において「平成20年度茨城県統計功労者表彰式」が開催されました。

大会では、昨年瑞宝単光章を受章された関口邦夫さんと藍綬褒章を受章された杉山成實さんの紹介や、統計功労者の表彰と感謝状の贈呈が行われました。

※経済産業大臣表彰

金井 津子さん（田子内町）

※経済産業省調査部長感謝状

増子 良雄さん（宇留野）

富山 明さん（栄町）

野上 進さん（抽ヶ台町）

※知事表彰

川崎 一郎さん（長倉）

木村 康広さん（小貫）

富山 明さん（栄町）

渡邊 光一さん（照山）

※統計協会総裁表彰

生天目 勇さん（野中町）

助川 壽幸さん（上大賀）

井坂 浩幸さん（野上）

坂本 昇さん（宇留野）



振り込め詐欺にご注意を！

高齢者を狙った犯罪が増加していることから、高齢者自らの防犯意識の高揚を図るため、御前山防犯連絡協議会では12月14日に65歳以上のひとり暮らし高齢者世帯の戸別訪問を行いました。

大宮警察署員と合同で、御前山地域の高齢者世帯約120世帯を訪問し、一人ひとりに防犯のパンフレットを手渡ししながら、振り込め詐欺などに対する注意を呼びかけました。

今後も高齢化が進むにつれ、さらに高齢者を狙った犯罪が増加することが懸念されることから、御前山防犯連絡協議会ではこれからも訪問活動を継続し、安心できる住みよい街づくりに寄与していきます。



道路里親を認定

12月16日に常陸大宮土木事務所「誠友会」（砂川栄一代表）と「上郷道路愛護会」（成井文夫代表）の道路里親の協定書調印式と認定証の交付式が実施されました。

道路里親制度は県が管理している道路を「里子」に、沿道のボランティア団体などを「里親」に例え、県に代わって道路の清掃や花壇の手入れを実施する制度です。

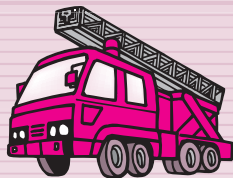
誠友会は国道293号、上郷愛護会は県道上檜沢下小川停車場線の里親となり道路の美化活動を行います。



出 初 式

1月10日、新春恒例の消防出初式がおおみや消防広場において開催されました。当日は市消防職員や消防団員など約900人と消防車両約83台が参加し、士気の高揚と団結の強化を図り、今年1年間の防災に対する決意を新たにしました。

また、功績をたたえ、団員の皆さんや退団者、消防協力者の方々242人に表彰、感謝状が贈呈されました。



献血にご協力ください

1月19日、市役所で移動採血車による献血が行われました。市内で実施された移動採血車による採血は、4月24日から

はじまり、1月31日現在で32回実施されています。

また、昨年12月3日は小瀬高校、今年1月15日には山方商業高校、1月22日には常陸大宮高校で実施され、高校生163人を含めると、4月からの献血協力者の延べ人数は1,693人にのぼります。

血液の需要は年間で一定ですが、献血者には変動がみられ、カゼなどで体調を崩すことが多い冬場から春先にかけて減少します。

現在、県内はもちろん全国的に輸血用の血液が不足しています。ぜひ、献血にご協力ください。



▲常陸大宮高校実施時の問診の様子

※移動採血車での献血は、200ml・400ml献血のみ実施。水戸赤十字血液センターでは200ml・400ml献血、成分献血を実施しています。

常陸大宮市
エコライフフォーラム開催

1月17日、おおみやコミュニティセンターにおいて開催されたエコライフフォーラムでは、茨城県環境アドバイザー廣戸京子氏を招き「わたしたちができるごみの削減」をテーマにした講演が行われました。講演の中で廣戸氏は、ごみの削減とリサイクルはちょっとした心がけでできる、できることから始めようと呼びかけました。また、大宮地方環境整備組合環境セ

ンター所長からはごみ処理の現状説明、市役所環境課職員からは市の地球温暖化防止の取組の説明があり、環境問題について改めて考える機会を持つことができました。



知って得する
消費者情報⑬

電話勧誘による資格講座などの二次被害にご注意！

過去に資格講座関連の契約をしたことがある人たちに対して、突然職場などへ電話勧誘があり、「過去の講座が終了していないので必要」、「名簿にある名前を抹消するのに費用がかかる」などと脅し、新たな契約をさせるという「二次被害」のトラブルがあります。

たとえば、次のような事例があります。

何年か前に電話勧誘で資格講座を申し込んだ。講座は途中でやめてしまったが、ローンの支払いは完了している。最近、業者から自宅へ電話があり、「講座を継続するなら新たな教材を購入し、やめるなら終了手数料がかかる。」と言われどちらかを選ぶように迫られた。



被害にあわないために

電話勧誘販売とは、業者が電話をかけてきて契約を勧誘する販売方法です。よくわからないままに、あいまいな返事をしてしまい、一度契約をしてしまうと「簡単に契約に応じる消費者」として「カモリスト」に載り、次々と勧誘電話が入るようになります。

上記の事例では、すでにローンの支払いが終了しているので何の義務もありません。受講の継続・中止の手続きや、名簿にある名前を抹消するために、新たな金銭的負担を求められるはずもありません。執拗な勧誘や不審な電話があったときは、きっぱりと断ることが大切です。

困ったことがあれば消費生活センターにご相談ください。

問い合わせ先

茨城県消費生活センター

☎029-225-6445

常陸大宮市消費生活センター（本庁商工観光課内）

☎52-2185（直通）

いっしょにまちづくり

～市民大学講座・秋講座を受講して～

三村明さん（小場在住）

市民大学講座は、茨城大学と市の地域連携事業の一環として平成17年度から始まったそうです。

私が市民大学講座を受講するのは、今回が2度目になります。前はアジアの



世界遺産を受講しました。今回の秋の講座では、アジアの中の日本文化として、中国から漢字が入り公文書や税金の記録などに使用された事などを知りました。2回目はひらがなの歴史で、漢字から万葉仮名、変体仮名そして平仮名と年代ごとに変化していったことが良くわかりました。

最終回は、水戸黄門の文学で、水戸光圀といえは諸国漫遊ですが、文学者であった事は意外に知られていないようです。次回は働くときの基礎知識、相続、食品表示と産地ブランドという興味ある身近な問題で楽しみです。また茨城大学の教授の直接講義を受けることができ感謝いたします。

※市と茨城大学とは相互に連携協力して「豊かな自然と調和した安心・快適な活力のまち」を目指して各事業に取り組んでいます。

では、塩田地区内に住む17人の方の書道や絵手紙等の作品が展示され、作品とおし地域住民の交流が深められました。



1月11日から18日までの8日間、大宮公民館塩田分館において趣味の作品展が開かれました。合併後初めての開催となった作品展

趣味の作品展



善意をありがとう

《常陸大宮市へ》

㈱東京電力
防犯灯10基

知市ってニュース！

★情報政策課 情報・広報統計グループ

このコーナーでは、常陸大宮市のさまざまな話題を紹介いたします。どうぞお気軽に情報をお寄せください。

☎52-1111 内線383